

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

2 今年度重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

- ア 状態変化時などにおいて、多職種で連携し個々に合ったケアを検討・実施する。また、迅速に対応するため、小さな変化でも速やかに情報共有をする。
- イ 褥瘡発生を予防するため、ポジショニング等の管理を今まで以上に進めていく。
- ウ 利用者の健康維持及び入所前からのケアの継続のため、積極的に嘱託医に意見を求める。
- エ 利用者及びご家族の意向を踏まえ、身体に負担がない食事を提供する。また可能な限り最期まで経口摂取ができるよう、評価・検討し、嗜好・嚥下状態に沿った食事を提供する。
- オ 穏やかに最期を迎えるため、ご家族への意向の確認に加え、利用者に対し早期に本人の希望を確認し、利用者のご家族の気持ちに寄り添ったターミナルケアを行う。

(2) 個別ケアの充実

- ア 今後さらに進行する利用者の重度化を踏まえ、介護 I C T機器の活用を多職種で検討し、業務効率化と情報の速やかな共有をより一層推進する。
- イ 24時間シートを継続して活用。個々のケアや対応の周知によるケアの質を担保、職員間で円滑に情報共有をすることでケアの質の向上につなげる。
- ウ 褥瘡や誤嚥を予防するため、写真を用いた資料により姿勢の整え方を職員に周知する。
- エ 体重や各種検査結果を確認・検討することで、低栄養等など、異常の早期発見につなげる。必要に応じて嘱託医に嚥下評価を依頼する。
- オ 余暇時間の充実。感染症対策をしながら、外部のボランティア等を積極的に活用する。ユニットの外へ出る機会を増やし、日常生活とは違った雰囲気を感じて頂く。

(3) 地域共生社会へ向けた支援体制の構築

- ア 自治会や子ども会と協議し、催し物、職員の講師派遣、利用者の作品展示等、地域との関係を強化し必要な情報提供を検討、地域の「なくてはならない施設」を目指す。
- イ 地域と協力し、認知症カフェ（オレンジカフェ）の開設を検討する。
- ウ 福祉の担い手を確保するため、福祉の経験がない人に対し職場体験やボランティア等をして頂ける場を提供し、専門職を増やすことに努める。

(4) その他

- ア 高稼働率の維持に努める。入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。かつ、10日以内の欠員補充を継続し、欠員期間短縮に努める。
- イ 生産性向上委員会を通じ、事例研究・研修会を積極的に受講することで、業務負担の軽減と介護の質の向上の両立を目指す。